

提出期限 12月17日(水)消印締切

令和7年度 情報Ⅱ（後期）参考プリント 第2回レポート

① 教科書P78～89

教師あり学習の代表的な手法

回帰分析…データを分析して説明変数と目的変数の関係が一番確からしい式を導き出し、それらの関係を明らかにするもの

分類…学習段階で書くとした分類の基準に従ってデータをいくつかのグループに分けること（分類の基準が学習により決まるため）

ロジスティック回帰…データがどのグループに属するかをそれぞれの確率を計算して判断する分類手法のこと

k近傍法…与えられたデータを予め学習したデータに従って分類する手法

分類木…ある条件に基づいて結果が異なる事象を木構造で表したモデルのこと

教師なし学習の手法

クラスタリング…与えられたデータの特徴のみを使ってデータを複数のクラス（ある共通の性質をもつ集まり）に分割すること

「深層学習」やAIにつながる手法

ニューラルネットワーク

…ニューロン（脳の神経細胞）のネットワーク構造に模したモデルで機械学習を行うしくみ

② 教科書P100～105

情報システム

情報システムとは

RFID (Radio Frequency Identification)

…ID情報を埋め込んだICタグの一種であるRFタグと、タグの情報を読み書きする装置との間で、近距離無線通信（数cm～数m）を用いて情報のやり取りをする技術。

(6) について

この3点が必ず入っていること

①どのような分野

②どのような情報システム

③どのように変化したか（または変化するか）

上記①～③の項目について、今後の社会にどのような変化（影響）をもたらすと考えられるかをまとめること。

教科書P101の7行目から例が載っているので、それを参考にあなたの思う社会にもたらされる変化（影響）をまとめること。

※基準となる太線を超えるように解答すること。

③ 教科書P102～103

情報システムの処理の仕組み

④ 情報モラルP19

情報の信憑性

⑤ 情報モラルP33

迷惑メッセージへの対応

⑥ 情報モラルP55

パスワード管理

⑦ 自己評価（忘れがちなので注意!）

評価の欄にある項目について、理解できたかを評価。基準として

3つ全て理解して当てはまっていればAに○、
2つの項目を理解して当てはまっていればBに○、
1つでも当てはまっていればCに○、
↑というように評価してみましょう。